マツムラ電器 株式会社

新型プレスブレーキ導入で競争力強化、 板金加工の技能伝承







空調機の据付も得意

鉄道車両の板金部品を加工、 空調機据付工事や修理も業務

鉄道車両の板金部品を加工・販売している。 車両 の扉、窓枠、取っ手、手すりなど、車内のほとんど の板金部品が対象で、修理用の取り替え部品が 中心。多品種少量で、年間4,000種類にも上る。 阪神車両メンテナンス(株)をはじめ、鉄道会社や その部品保守会社を主な顧客としている。松村健一 社長が平成15年、前身のオーナー会社から事業を 受け継ぎ、新会社の「マツムラ電器」として創業した。

阪神車両メンテナンス(株)との取引が一番 多く、同社を経由して受注するほかの鉄道会社の ものも含めると、阪神車両メンテナンス(株)が ほぼ100%の納入先。車両整備は安全性からも 不可欠な安定した仕事で、納入先からの信頼は 強い。松村社長は「仕事量は月間で2-3両分。車両 の改造工事時に急に必要な部品もあるため、まと まった休みを取れることもないが、おかげさまで 数年先まで予定を聞いている」と、胸を張る。この ほか、民生用・業務用空調機の据付工事も手がけ、 売上高の残り約10%を占めている。



曲げ加工のプレスブレーキを オーダーメイドで導入

「平成25年度中小企業・小規模事業者ものづくり・ 商業・サービス革新事業」の「ものづくり補助金」 では、オーダーメイドで最新の曲げ加工機械である プレスブレーキを導入した。松村社長の長女の松村 由紀専務が加工機械メーカーの担当者から同事業 を紹介され、応募したのがきっかけ。導入したプレス ブレーキは高さが3m以上もあり、同機械としては 最大クラス。大型サイズが多い鉄道車両の板金 部品も、ほとんど加工できる。コンピューター数値 制御 (CNC) 付きで、段取りが容易なうえ、安全性 も高い。

松村専務は「これまでは父の熟練技能を頼りに、 仕事を続けられた。しかし、世代交代が近づいて いるので、誰でも操作できる自動機械の必要性を 切実に感じていた と、導入した理由を説明する。 「マツムラ電器」は板金加工機械を中心に約30台 の加工機械を保有しているが、新型を導入したの は、今回のプレスブレーキが初めてとなった。



導入した新鋭のプレスブレーキ

リードタイムが 3―4時間から1時間に短縮

松村専務は新型機の導入に備え、展示会を見学し 必要な機械を以前からイメージしていた。「導入 したプレスブレーキは、データを入力すればほぼ 自動で加工してくれる。熟練に頼らなくても加工 できるようになった」と、高い性能に驚く。例えば、 加工に必要な金型を機械に記憶させられるので、 たくさんある金型の中から正しいものを機械が 指示してくれる。鉄板の厚みが正しいかどうかも、 機械が判別できる。危険な作業では、安全に止 まる。同じ仕様の部品の加工ならば、次回からは 完全に自動化できる。これまでは経験や勘が必要 だったこうした段取り作業を、大幅に不要とした。 機械の裏に回るような難しい作業もなくなり、加工 時間も含めると、従来は3-4時間かかっていた リードタイムを1時間に短縮した。不良率が低く、 生産性も向上した。加工精度も高まり、ほとんど 誤差なく製造できるようにもなった。

加工コストのメリットについては分析中だが、 「同一部品ならば従来の10分の1の時間で加工 できる。油圧装置も必要な時だけ動く節電技術の ため、加工に要する電気代がかなり低減した | と 松村専務は語る。



信頼の実績から、 ビジネスを広げる好機に

松村専務は「新しい機械を操作するのは、とても 楽しい。せっかく導入したのだから、もっと仕事を 増やしたい」と意気込む。取引先からも「ほかの鉄道 会社を紹介するので、取引先を増やしてはどうか」 と、勧められている。これまでも短納期、低コスト で部品を納めてきた信頼の実績から、ビジネスを 広げる好機を迎えている。

例えば 「マツムラ電器」 ならば、 通常は溶接しない と製造できない部品でも、深曲げ加工の独自技術 で、溶接不要の一体成形をできる。新しいプレス ブレーキを入れたため加工能力には余裕もできた。 ただ、保有していないレーザー加工機などについては 一部、加工を外注に出している。完全な一貫生産 体制を築ければ納期やコスト競争力が一段と高まり、 顧客開拓しやすくなる。「欲をいえば、レーザー加工 機やタレットパンチプレス加工機も導入したい。 当面は無理でも、今後も同様な補助制度のチャンス があれば、考えてみたい」と、前向きに語る。一方、 空調機の据付工事も手堅いサービスでダイキン工業 (株)の信頼をつかみ、板金加工部品に次ぐ事業の 柱と位置づけて継続する。

マツムラ電器 株式会社

代表取締役 松村 健一

〒586-0037 大阪府河内長野市上原町311

TEL. 0721-54-3950

FAX. 0721-54-3950 資本金/3,000千円

従業員/6名













鉄道車両の板金加工部品を 機械加工から組立まで一貫生産

代表取締役 松村 健一

多品種少量の鉄道車両用板金加工 部品を機械加工から溶接、組立まで 一貫して手がけています。鉄道事業 に必要な安全性から、短納期の即応 体制も築いています。



取材を終えて

次世代経営者が リーダーシップを発揮

「マツムラ電器」では社長が父親、専務が長女、工場長が長男、空調部 部長が次男と、家族が仲良く一致結束して「家業」を守り続けている。中でも 松村専務は子どものころから工場で遊び、社会人になると同時に入社し、 父親の右腕として会社を支えてきた。今回の補助事業でも松村専務は徹夜で 提出資料を作成し、採択を勝ち取った。近い将来の世代交代をしっかりと 見据え、次世代経営者として強いリーダーシップを発揮している。

96 平成25年度ものづくり補助金成果事例集 平成25年度ものづくり補助金成果事例集 97